

水素バリューチェーン構築に関する伊藤忠商事グループとの戦略的協業について

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長COO：鈴木善久、以下、伊藤忠商事）、工業用ガス世界最大手でグローバルに水素ビジネスをけん引する仏エア・リキード（以下、エア・リキード）の日本法人である日本エア・リキード合同会社（本社：東京都港区、社長兼CEO：ヴィルジニー・キャヴァリ、以下、日本エア・リキード）および伊藤忠エネクス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田賢二、以下、伊藤忠エネクス）は、低炭素水素の製造から活用まで上流から下流を網羅する水素バリューチェーン構築に関する戦略的な協業に合意し、3社間での覚書を締結しました。

伊藤忠商事、日本エア・リキード、伊藤忠エネクスの3社は、まず大都市圏における地産地消モデルを念頭に、競争力のある水素の製造・供給、水素ステーション事業の拡充を共同で検討し、モビリティ市場を含む産業向け水素市場の拡大に貢献してまいります。

また、この協業をさらに発展させ、国内外での水素事業を推進し、将来的には日本への水素の輸入を視野に入れた国際水素バリューチェーンの構築を目指します。

日本国内においては2020年12月に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が公表され、その中でも水素は幅広い用途が期待されるカーボンニュートラルのキーテクノロジーとして、様々な分野の脱炭素化に寄与していくことが期待されています。またトラック等の商用の燃料電池車は、輸送分野において水素利活用が期待される領域として、特に注目されています。政府は2035年までに、新車販売で電動車^{※1}100%を実現する方針を明らかにしており、今後は燃料電池車の普及に拍車がかかると期待されています。

この大きな潮流を踏まえて、生活消費関連分野を中心とした伊藤忠商事の幅広いネットワークに加えて、国内最大手のエネルギー商社である伊藤忠エネクスの顧客基盤とエネルギー流通体制を活用し、グループとしての総合力を発揮し、水素市場の開拓を推進していく方針です。

エア・リキードは、ガス国際メジャーの一角で、Hydrogen Council（水素協議会）^{※2}の共同議長を務める等、水素利活用を推進するグローバルリーダーとしての地位を確固たるものにしていきます。また日本エア・リキードは1907年に日本に進出し、産業・医療ガス及び関連機器・サービスを多様な業種に供給しています。

※1 電動車：電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車及びハイブリッド車

※2 水素協議会：エネルギーの移行に資する水素について、統一した長期的なビジョンを持つ大手エネルギー、輸送機器、産業の企業によるグローバルなイニシアチブであり、2017年1月にダボスで開催された世界経済フォーラムで発足しました。現在のメンバーは100社を超えており、トヨタ自動車、3M、Airbusなど世界を代表する企業が参画しています。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部
ww-aljcommunications@airliquide.com
03-6414-6728

日本エア・リキード

日本エア・リキードは、1907年に日本で初めて酸素製造を開始して以来、100年以上にわたり業界のパイオニアとして日本の産業発展に貢献しています。現在2,000名の社員を擁し、エレクトロニクスをはじめとする産業分野の企業へ酸素や窒素を供給しているほか、酸素燃焼装置などお客様のニーズに基づいた共同研究と課題解決に力を入れています。医療においては病院向けのガス供給のほか、在宅医療分野に注力。医療従事者や患者様が必要とする新たな治療機器やIoTを活用したソリューションを開発提供しています。またエア・リキードは脱炭素・水素社会の実現に向けてグループとして世界で水素ステーションを120カ所以上設置しています。日本でも水素ステーション建設のほか、水素エネルギーのバリューチェーンを網羅するリーディングカンパニーを目指しています。業界をリードするイノベーション・技術の中核とした革新的なソリューションの提供を通じてお客様と社会の発展に貢献します。

エア・リキードグループの水素エネルギーに対するコミットメント

エア・リキードは、世界の産業ガス業界のリーダーとして50年以上の間、水素サプライチェーンを構築する独自の専門技術の開発に取り組んできました。水素製造から貯蔵、流通、そしてエンドユーザー向けのアプリケーションの開発までを取り扱い、特にモビリティに対するクリーンエネルギー源としての水素の普及に貢献してきました。エア・リキードは、これまでに世界で120を超えるステーションを設計および設置をしています。水素はクリーン輸送を実現するための代替手段であり、大気質の改善に貢献します。水素は、燃料電池を使用すると、空気中の酸素と結合して電気を発生します。その過程で排出するのは水のみです。都市部における持続可能なモビリティと地域の大气汚染への課題に、ひいては地球温暖化の課題への具体的な解決策を提供します。

Air Liquideについて

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界78カ国で約64,500人の従業員を擁し、380万以上のお客様と患者の皆様へサービスを提供しています。酸素、窒素、そして水素は、生命、物質、エネルギーに欠かせない分子であり、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の中心となってきました。

エア・リキードのアンビションは、ガス産業をリードし、長期的パフォーマンスを維持し、責任ある行動を取ることです。お客様を中心に据えた変革を戦略として実行し、長期にわたる利益ある成長をめざします。卓越したオペレーション、選択的な投資、オープンイノベーション、ネットワーク組織によりこれを達成します。社員のコミットメントとイノベーションにより、エネルギーと環境の転換、ヘルスケアの進展、デジタル変革を捉え、全てのステークホルダーにより大きな価値をもたらします。

エア・リキードの2020年度の売上高は200億ユーロを超えています。ユーロネクスト・パリ（A部）に上場され、CAC40ならびにEURO STOXX 50指数およびFTSE4Good Indexの構成銘柄です。